



米ディファインドクラウド社

AIアプリの開発期間を短縮する 機械学習用の高品質データを提供

AIアプリ開発のための「高品質データ」の提供で起業した。
開発期間の大幅な短縮が見込め、多くの大企業が注目する。
顧客企業が持つデータを構造化する新サービスも開発する。

AIアプリケーションを実用化レベルにするためには、コンピュータに大量のデータを解析させて、判断や予測のための規則性を見つけ出すマシンラーニング（機械学習）が不可欠だ。そして、短時間で効率的に規則性を見つけるためには、整理した良質なデータが大量に必要なことになる。

シアトルで2015年に創業したディファインドクラウド(DefinedCrowd)社は、この問題を解決するために、独自に収集し、質・量ともに充実させたデータを構造化して、AIアプリを開発する企業が目的に合わせて利用できるプラットフォームを提供するスタートアップ企業だ。

創業者でCEOのダニエラ・ブラガ博士がこの分野にビジネスチャンスを見出したのは、ワシントン大学で教鞭をとりながら開発責任者を務めた、マイクロソフトの音声認識システムの開発現場だった。高品質で多言語に対応したデータを提供できる企業が存在しなかったため、データの整理に18カ月を費やすなどの苦労をした。この経験から、どんなAIアプリの開発でも同様の課題を抱えていると推測し、高品質データを提供するサービスの開発に絞って、起業に踏み切った。

「世界のAI関連企業が開発拠点を置いているが、サンフランシスコ・ベイエリア

より物価が安く、起業家やスタートアップ企業も多い。そんなシアトルだからこそ起業できたと思う」(ブラガCEO)。

同社は、人間とコンピュータがインタラクティブ(相互作用)する分野からのデータ収集に特化し、音声や画像、動画などの膨大なデータを46種類の言語に対応するように充実させ、構造化した「スマートデータ」を、顧客企業に提供している。46種類の言語で、グローバル企業のほとんどの活動地域・国をカバーできるといふ。

高品質化する前のデータはクラウドソーシングで収集している。これを、自社独自のネットコミュニティ「Neevo」で世界中の4万5000人を超えるメンバーが充実・構造化する。手をかけて、機械学習も導入して生データを丁寧に充実化することで、SLA(サービス品質保証レベル)で98%の正確性とスピードが保証されるま

新たな資金調達に成功 日本は重要な市場の一つ

同社は既にBMWやマスターカードなどの大企業を顧客に持ち、主にプラットフォームユーザーの提供によって対価を得ている。今後も、コールセンター、ロボット、監視カメラ、音声認識システムなど多

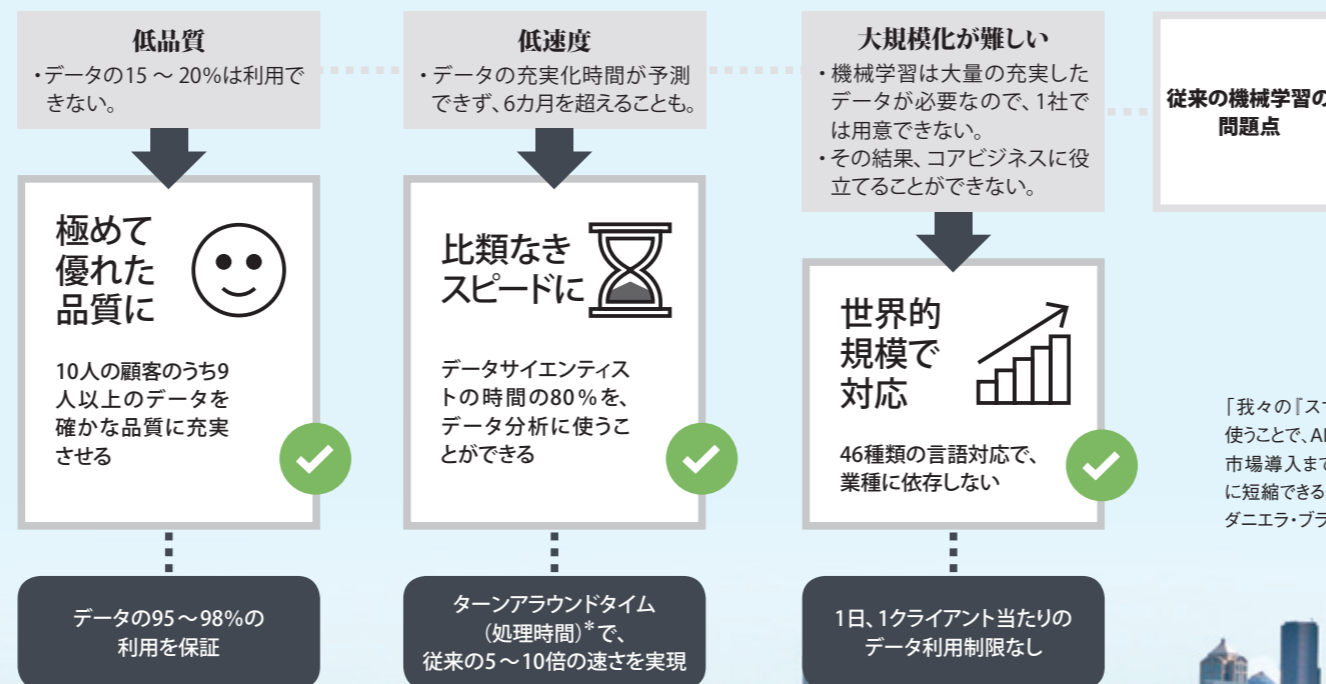
くの分野でAIアプリの競争が激化すると予測されており、開発から市場導入までの期間を短くすることができる同社のサービスは多くの大企業から注目されている。今年7月には、資金調達の面でも、新たな投資家も加わって合計1180万ドルの調達に成功した。

また、世界で強化されているプライバシー保護への対応のため、社外秘のデータを顧客企業のサーバーに保有したまま、ディファインドクラウド社が充実・構造化を担い、利用できるようにするサービスも開発する。

市場もグローバルに見ている。「大量の顧客と、そのデータを持つ大企業が多い日本はとても重要な市場の一つ」とブラガCEOが言うように、今年4月には東京オフィスを開設。最高事業開発責任者で、日本語も堪能なアヤ・ズーク氏を常駐させた。急速な事業の拡大に対応するため、シアトル、東京とブラガCEOの出身地のポルトガルで人材を採用し、現在50人ほどの社員数を80人に増やす予定だ。

「創業者として投資家にも社員にも大きな責任がある。大変な時期もあるが、起業したことを後悔したり、後ろ向きになったりしたことは一秒もない」とブラガCEOは笑顔を見せた。

サービスの特徴



従来機械学習の問題点

「我々の「スマートデータ」を使うことで、AIアプリの開発と市場導入までの期間を大幅に短縮できる」と話すCEOのダニエラ・ブラガ博士



取材・文/大野拓未 写真/サリーン香世子



「大量の顧客を持つ大企業が多い日本市場でのビジネスを、とても重視している」と話す最高事業開発責任者のアヤ・ズーク氏

Corporate Profile

創業者&CEO Daniela Braga
 本社 111 W. John St. Seattle, WA 98119, United States
 設立 2015年
 事業内容 AI、機械学習向けスマートデータの収集・提供サービス

<https://www.definedcrowd.ai/>

写真/花井智子